

付属資料

「都立城北中央公園の整備計画案」中間のまとめに対する都民意見

平成 22 年 1 月に「都立城北中央公園の整備計画（案）」中間のまとめを発表した後、都民の皆様から 72 件のご意見をいただきました。いただいたご意見については、極力、今回の答申に反映させていただきました。ここでは、意見の概要を紹介します。

ご 意 見
<p>【公園計画の全般について】 22 件</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現況の屋敷林や周辺の畑と一体となった風景を保全し、それを活かせるような計画にして欲しい。・ 田んぼをつくっても良いと思う。田んぼには生き物が多く集まり、維持管理に協力・参加される方もいると思う。・ 防災の拠点となる公園が拡張されることは、地域にとっても有意義である。被災時に防災機能が十分に発揮されるような仕組みづくりや、防災訓練などの活動ができる場として整備して欲しい。・ 樹林地が多いので、広々とした草地広場など広さを感じられる空間ができると嬉しい。・ 精神的・肉体的リハビリなどに対応した健康器具等の施設を整備して欲しい。・ バーベキュー広場を整備して欲しい。・ サッカー場があれば良いと思う。・ 北側区域の運動施設ゾーンと対比して、南側区域を静的な空間に整備することは良いと思う。・ 既開園区域も含め、誰もが安心して安全に利用できるよう工夫されたい。・ 都立大山高校が将来廃校する場合には、是非、公園計画区域に編入して欲しい。
<p>【石神井川との連携について】 5 件</p> <ul style="list-style-type: none">・ 石神井川との連携により、武蔵野の原風景を彷彿とさせる景観や空間を復活させて欲しい。・ 石神井川と一体となった広々とした景観が創出されれば良いと思う。・ 石神井川沿いの桜並木の景観が連続するように、公園内に桜を植栽して欲しい。・ 水辺の樹林は河畔林のイメージを再現して欲しい。
<p>【親水拠点について】 8 件</p> <ul style="list-style-type: none">・ 石神井川の水辺景観と調和した親水広場を整備して欲しい。・ 水面に触れられるよう、親水性の高い公園にして欲しい。・ 整備にあたっては生物多様性の観点に配慮して欲しい。・ ビオトープ池が計画されているが、石神井川から池に魚が往来できるような工夫をお願いしたい。ドジョウやフナなどは本来、小川と田んぼなどを往来して生活しており、より多様な水辺環境になると思う。・ 子ども達が水遊びのできる安全な場所や、トンボやカエルの生息する池をつくってはどうか。・ 石神井川は大雨の際に増水するので、親水拠点の整備では、安全対策に十分留意する必要がある。・ 水辺には水草など由来のものを植えると景観も良くなると思う。

【お花見広場について】 5件

- ・ お花見広場の整備について期待している。できれば直ぐに満開の桜を堪能できるよう、ある程度大きな桜を植栽して欲しい。
- ・ 桜山ゾーンについては、区立茂呂山公園のサクラとの景観の連続性を図って欲しい。
- ・ 桜を植栽する際には、広く民間からの寄附等の協力を仰ぐなどの整備手法を活用するほか、地元区との連携により、桜の育成にも都民参加を図るなど、利用者から末永く愛される森づくりを展開して欲しい。
- ・ お花見広場の整備について、早期に実現されることを期待している。

【ふれあいゾーンについて】 4件

- ・ ふれあいゾーンについては、武蔵野の原風景を彷彿させる特徴のある場所として整備して欲しい。その際は地域住民との連携を十分に図って進めて欲しい。
- ・ ボランティア活動の拠点を充実して欲しい。
- ・ ふれあいゾーンに農の要素を取り入れているのは、この地が昔農地だったということでしょうか。農体験のみではなく、武蔵野の農地という郷土の歴史のようなものが学べるゾーンにして欲しい。

【維持管理について】 4件

- ・ 樹木が鬱蒼としていて暗い場所がある。樹木の剪定や間引きを行い、明るい広場にしたいと思う。
- ・ 住民参加により緑を育むとあるが、将来にわたって樹木が適切に管理できるような仕組みが重要である。
- ・ 石神井川より北側の公園区域について「鬱蒼とした既存の樹林について、適宜、剪定や間引きなどを行い明るい樹林に育成していく。」とあるが、そのための費用を十分に確保して欲しい。

【運営管理について】 5件

- ・ 農の広場について、周辺の農家の方の協力を得るなど、地域の人々が農作業に参加できる体験農園のような公園になると良いと思う。
- ・ 都心での農体験は興味深いので、是非、実現して欲しい。初心者にも分かりやすい農体験プログラムをお願いしたい。
- ・ 「農の広場」では、高齢者のみならず、幼児から学童、親子、中高生など、様々な年代を対象とした体験・環境学習の場となるよう、ハード・ソフト両面の様々な工夫を期待したい。
- ・ ビオトープ池について、地域住民や小中学生の環境教育などと連携した管理が望ましいと思う。

【その他】 19件

- ・ 公園へのアクセスの改善が必要と感じる。道路整備との連携が重要である。
- ・ 昨今のランニング人気などを考えると、ランニングコースやロッカー室、シャワー等の施設があると良いと思う。
- ・ 現況の自然環境や資源を活用した良い計画であると思う。環境改善や防災性を確保するため、早期に整備を進めて欲しい。
- ・ 30年余昔は暗く危ない公園のイメージがあったが、今では公園面積も広がり、明るく利用しやすい公園になってきていると感じている。
- ・ 整備計画に「東京島嶼と東京水源林ゾーン：伊豆諸島・小笠原諸島・硫黄諸島・沖の鳥島・南鳥島の島嶼植物園と温暖植生園づくり。水道水源林 2000m帯山岳地の、奥利根及び奥多摩水源林林相園と寒冷植生園づくり。」を位置付けてはどうか。
- ・ 今回は石神井川より南側区域の計画であるが、北側区域の再整備についても積極的に取組んで欲しい。
- ・ 石神井川より北側の公園区域について、現在の施設は位置が分りにくいので、施設の配置を見直して欲しい。
- ・ 既存のスポーツ施設について、多目的利用に対応できるようにして欲しい。
- ・ 防災機能向上のため、是非、早期に整備をお願いしたい。
- ・ 早期に公園が完成することに期待している。

「都立大戸緑地(仮称)の整備計画案」中間のまとめに対する都民意見

平成 22 年 1 月に「都立大戸緑地（仮称）の整備計画（案）」中間のまとめを発表した後、都民の皆様から 76 件のご意見をいただきました。いただいたご意見については、極力、今回の答申に反映させていただきます。ここでは、意見の概要を紹介します。

ご 意 見	
【公園計画全般について】	24 件
<ul style="list-style-type: none">・ 老若・男女、家族連れなど多くの方が足を運んでいただけるような、地域のレクリエーションの拠点となる、特徴ある施設にして欲しい。例えば地元の酪農家との連携や、花の名所にするなどが考えられる。・ 花や紅葉を楽しめる樹木（モミジ、サクラ、ミツバツツジなど）を植栽して欲しい。・ 圏央道開通による関東近県からの来園者を想定し、駐車場を多めに確保して欲しい。・ 観光バスが入れるような駐車場を整備して欲しい。・ 都民と共に公園をつくるという考え方に共感を覚えた。・ 計画の実現に向けた着実な取組みを期待している。・ 森林再生は興味深い取組みである。全国的に森林が荒廃しているので、大戸緑地が森林再生のモデルとなることを期待している。・ 「都民と共に育む公園づくり」というテーマに大いに期待している。・ 自然との係わり方のモデル的公園となることを期待している。	
【里山体験ゾーンについて】	4 件
<ul style="list-style-type: none">・ 炭焼小屋や堆肥づくり、田起こしや畦づくりなど原風景の再現を期待している。・ 森林再生や里山景観の保全は多くの人々の協力が必要である。これに向けた仕組みをつくって欲しい。・ 整備にあたっては、土地所有者が山林経営を続けられる間は、性急に用地取得をせず、協働して樹林地の質の向上を図るなど、地域との連携をより深めて欲しい。・ 里山体験ゾーンについて、萌芽更新だけでなく、間伐や択伐も積極的に行うべきである。	
【レクリエーションゾーンについて】	5 件
<ul style="list-style-type: none">・ バーベキュー広場を設置して欲しい。・ 子どもが楽しめるアスレチック遊具が多数あると良い。水面に浸かるリスクがあるなどスリリングな遊具も面白いと思う。・ キャンプ場やオートキャンプ場ができることは大いに期待している。・ 整備計画に「ヤマザクラ純林ゾーン：レクリエーションゾーンのオートキャンプ場まわりの斜面を、日本の象徴自然種ヤマザクラ純林一色の桜山とする。」を追記して欲しい。	

【樹林地保全ゾーンについて】 4件

- ・ 樹林地保全ゾーンの殆どが、手入れがされていない杉林である。少しずつでも落葉広葉樹林に転換してはどうか。
- ・ 高尾山へのハイキングコースを整備・改良して欲しい。
- ・ できるだけ多くのサクラの種類を植栽し、長く楽しめるようにして欲しい。

【運営管理について】 21件

- ・ ボランティア活動の更なる充実を図って欲しい。
- ・ 大戸緑地の名前が全国に知られるような、新しい仕組みづくり、行動、メッセージが発せられることを願う。
- ・ 現在活動しているボランティア活動（プレパーク事業）の活動を継続して欲しい。
- ・ 物を造って人を呼ぶのではなく、「人を呼ぶためにはどうすればよいか」を考えて欲しい。
- ・ 京王がイベントを開催する際はその企画と連携してはどうか。
- ・ 法政、拓殖、家政学院など周辺大学との管理運営面での連携を考えて欲しい。
- ・ コナラの植栽にあたっては、10年単位で間伐体験ができるようにレイアウトし、伐採した木で炭づくりや、ほだ木によるしいたけ栽培等の体験を行ってはどうか。
- ・ 都民に樹木や野草の苗の出資を募り里親となっていていただき、その苗木を園内の一部に植栽してはどうか。里親になった方は苗木の生長を楽しみに、何回も大戸緑地を訪れると思う。

【その他】 18件

- ・ 車道からのアクセスがわかりにくいので改善して欲しい。
- ・ 最寄り駅からのバスの便を増やすなどを検討して欲しい。
- ・ 「低炭素型社会への取組み」とあるが、具体的にどのような取組みを計画しているのか。環境を保全することが低炭素型社会に向けた取組みの一つだと思うが、それだけでは本質的なところが違う気がする。
- ・ 整備効果を早期に発現させるため、皆が集い、学べる「保全活動拠点ゾーン」から整備してはどうか。
- ・ 樹林地保全ゾーンについて、樹林地の健全な育成とは具体的にどのように取り組むのか。
- ・ 既存の広場に向かう園路の一部が急勾配になっているので、改善して欲しい。
- ・ 大戸緑地という名称がよくないと思う。名称はいろいろな意味でとても重要であるので、変更した方が良いと思う。
- ・ オートキャンプ初心者でも安心して楽しめるよう、指導員を配置して欲しい。
- ・ キャンプ場等の利用者が、地元農家による産直フリーマーケットの農産物を享受することで、地産地消や農の持続性の大切さなどを都内からアピールする「核」になると良いと思う。